



全産業における労働災害の発件数はこの25年で半減しているにもかかわらず、陸運業が占める割合は8%から12%に増加しています。そしてその約70%を荷役災害が占めています。工場や倉庫におけるフォークリフト、ハンドリフト、ロールボックスパレット等の災害、トラックの荷台での様々な災害事例をCGアニメにより正確に再現。その原因と対策を分かりやすく解説し安全のポイント10をテンポよく説明します。不安全行動を許さない安全再点検DVDシリーズ第2弾。

荷役作業の労働災害 第2巻 トラックの積卸し 編

災害事例

- ①合図者がフォークリフトの荷を誘導中にトラックの荷台から墜落
- ②荷台のおおりに乗ってベルトを緩めているときに反動で転落
- ③テールゲートリフターから作業員とロールボックスパレットが落下
- ④トラックの荷台から飛び降りて足首を捻挫
- ⑤誤ってスイッチに触れて運転手がウインググループに挟まれる
- ⑥クレーンを使って荷卸し中、荷が振れて作業員が荷台から転落



平ボディトラックの安全10のポイント

バンボディトラックの安全10のポイント

クレーンの安全10のポイント

本編: 18min.	片面1層ディスク	カラー	MPEG-2	複製不能
1 主音声 ステレオ	16:9 LB	ALL NTSC	DOLBY DIGITAL	

■DVDビデオは、映像と音声を高密度に記録したディスクです。DVDビデオ対応のプレーヤーで再生してください。

パソコンの一部の機種では再生できない場合があります。

■このDVDは、著作権法上、無断で複写(デジタル化含む)・編集することはできません。

また営利目的としたレンタル、上映なども固くお断りします。

<取り扱い上の注意>

ディスクは両面に指紋、汚れ、キズなどをつけないよう取扱ってください。また、ディスクに鉛筆やボールペンで文字を書いたり、シール等を貼付しないで下さい。

直射日光の当たる場所、高温・多湿な場所での使用・保管は避けてください。また使用後、ディスクは必ずプレーヤーから取り出し、専用のDVDケースに入れて保管してください。

価格 本体40,000円+税

●製作・著作・総発売元

ASP株式会社 アスパクリエイト

東京都文京区本郷5-25-16 〒113-0033

TEL.03(5803)9511 FAX.03(5803)9530

http://www.asp-create.com



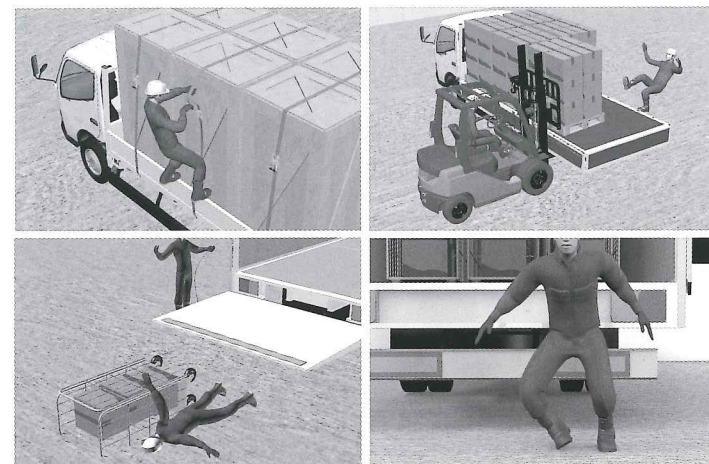
監修/労働安全衛生コンサルタントグループ
技術士 前川謹治・石田義昭・志村博正

CGで見せる
災害事例と安全10のポイント

荷役作業の労働災害

第2巻 トラックの積卸し 編

CGで見せる災害事例と安全10のポイント
荷役作業の労働災害 第2巻 トラックの積卸し 編



DVD/18分

ASP
CREATE

ASP株式会社 アスパクリエイト

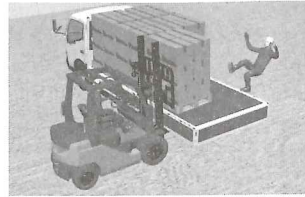


CGで見せる
災害事例と安全 10 のポイント
荷役作業の労働災害
第2巻 トラックの積卸し 編

株式会社 アスパクリエイト

事例1 平ボディトラック

荷台の合図者が転落



状況…倉庫からの出荷作業で、フォークリフトでトラックに荷積みをしていた。フォークリフトの運転手に合図者が荷台から指示を出していたとき、合図者が後ずさりして荷台から転落した。

原因…フォークリフト運転手は荷に気を取られ、合図者の位置を確認していなかった。合図者はフォークリフト運転手の死角になっていることに気づかず、フォークリフトの動きを想定していなかった。後ずさりした時に、あおりが下がっていることに気がつかずに足を踏み外してしまった。合図者が荷台から運転手に指示を出していた。

対策…合図者は、荷が十分確認できるフォークリフトの可動範囲外の安全な位置から指示を出す。フォークリフト運転手は、合図者の位置を確認し慎重に荷を載せる。合図者と運転手は声をかけ合い、運転手の死角の安全を確認しながら、作業を進める。

事例2 平ボディトラック

あおりに乗って 荷解き作業中に転落



状況…トラックのあおりに乗ってラッシングベルトを緩め、荷を解いていた。ベルトに体重をのせて引いたところ、ベルトが急に緩み、あおりから足をすべらせて転落、骨折した。

原因…荷物を一杯に積んでいて荷台に足を下ろすスペースがなかったため、トラックのあおりに足をかけて作業をしていた。不安定なあおりに足をかけ、ベルトに体重を乗せ、力ずくで引いたため、急な緩みに対応できなかった。

対策…ベルトやシート掛けなどの作業は、あおりなどの不安定な場所に乗って行わない。地面から作業をするか、高い位置での作業は作業台や脚立を用いる。ベルトを緩める時は反動に注意して作業する。

平ボディトラックの安全10のポイント

- ① 地上からまたは作業台や脚立を用いて作業をする
- ② エンジンを切り逸走防止措置を確実に行う
- ③ 荷詰めや包装、ラベル貼りは荷台の上で行わない
- ④ 偏荷重にならないように均等に積み付ける
- ⑤ ベルトやシートを引っ張る場合はその反動に注意する
- ⑥ あおりに足をかけて作業しない
- ⑦ 鋼管、丸太等は歯止め等で確実に荷崩れの防止をする
- ⑧ 合図者は安全な位置から指示を出す
- ⑨ 荷台では背中を荷台の内側に向けて作業をする
- ⑩ 運転手や合図者は作業計画を事前に十分に確認する

事例3 バンボディトラック

テールゲートリフターから
落下し、負傷



状況…テールゲートリフターの付いているトラックから、ロールボックスパレットを降ろしていた。パレットをテールゲートまで運び、手で押さえたまま降下した。

リフトを降下させた振動で、パレットが移動し落下。

押さえていた作業者もあわてて持ち直したが、止められず一緒に落下し、負傷した。

原因…テールゲートリフターのストッパーを上げずに、ロールボックスパレットを手で押さえたままでリフトを下降させていた。

手を添えるだけでしっかり押さえていなかったため、リフトを下げた振動でパレットが移動してしまった。

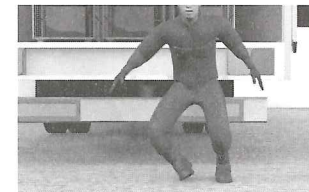
対策…テールゲートリフターのストッパーが出ているか確認し、パレットを正しい位置に固定する。

パレットのキャストーストッパーをロックする。

荷を固定しテールゲートから降りて、リフトを下降させる。

事例4 バンボディトラック

荷台から飛び降り、
足首を捻挫



状況…出発前に荷を確認、出発の時間が近づいたので荷台から地面に飛び降りた。着地した時に足首をひねってしまい、捻挫した。

原因…出発の予定時間がせまっていたのでステップなどを使わず、あわてて飛び降りた。

対策…荷台から降りるときは飛び降りたりせずに、手で押さえステップを使ってゆっくり降りる。

時間に余裕を持って作業をする。

事例5 バンボディトラック

ウィングルーフに挟まれる



状況…ウィングルーフトラックで出発直後、積荷のバランスが気になり構内に停車した。ウィングを開きステップに足を掛け荷台の中を覗き込もうとしたとき、ステップの奥にあるウィングのボタンに足が触れ、ウィングが作動。ウィングと車体の間に胴体が挟まれ、重傷を負った。

原因…ウィングの開閉ボタンが車両後部のステップ付近に設置されていたため、足を踏み込んだ際に接触してしまった。

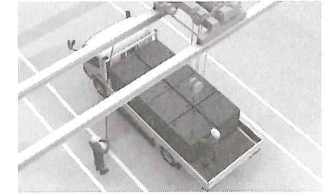
対策…乗降の際にウィングの開閉ボタンが当たらないように、十分注意する。また、ボタンにガードカバーを付けたり長押ししないと作動しないなどの安全対策をとる。
また、整備不良で油圧が下がり、ルーフが降りてくる事故も発生しています。オイルの定期点検・補充・交換を必ず行うようにしましょう。

バンボディトラックの安全10のポイント

- ① 荷室の扉を開ける場合は荷の落下に注意する
- ② 飛び乗り、飛び降りはない、昇降ステップを使用する
- ③ 最大積載量を超えないようにする
- ④ 水平な場所に駐車して作業を行う
- ⑤ テールゲートでの積卸しは軽い荷から積み始め、重い荷から降ろす
- ⑥ テールゲートで荷を昇降させるときは必ずストッパーを使用する
- ⑦ 不安定な荷はベルト等でテールゲートに固定する
- ⑧ テールゲートで上昇中の作業者の危険を防止するため自動停止装置を装備する
- ⑨ ウィングルーフの下での作業は安全支柱等を使用する
- ⑩ ウィングルーフの開閉ボタンにガードを付ける

事例6 クレーン

荷が振れ、
玉掛け者が転落



状況…トラックの荷台から、クレーンを用いて大型機材を降ろしていた。荷台の作業者が玉掛けをし、荷台に乗ったままクレーン操作の指示を出していた。クレーンで持ち上げた途端に荷が振れて作業者にぶつかり、その反動で転落した。

原因…玉掛け作業者が地切りを十分にしていなかった。
荷台に乗ったままクレーン操作の指示を出していた。

対策…玉掛け作業者は地切りをして安全を確認したあと、クレーンの可動範囲から退避し安全な場所から指示をだす。
クレーンや玉掛け作業は技能講習を受けた有資格者が行う。
クレーンを操作する者は、玉掛け者が地切りをしたあと安全な位置に移動したことを確認してから、玉掛け者の指示に従い作業を行う。

クレーンの安全10のポイント

- ① つり荷の質量・形状などを考慮して適した強度の玉掛け用具を選定する
- ② ワイヤロープのつり角度は60度以内とする
- ③ ワイヤが鋭角に当たる接点には当て物をする
- ④ 介添えロープを使用する
- ⑤ 負荷を考慮して定格荷重内で使用する
- ⑥ 地切りをしてフック位置・重心・ワイヤの張り・荷の安定を確認する
- ⑦ クレーンの可動範囲内からの作業者の退避を徹底する
- ⑧ 移動式クレーンは設置場所の地耐力を確認する
- ⑨ 過負荷、巻過等の防止装置を切って作業はしない
- ⑩ クレーンや玉掛け作業は必ず必要な資格を持った者が行う